

(別表) 選考基準

審査項目	審査内容
1 申請者の事業方針と事業関連性	申請者のコンセプト、業務内容等が業務目的の達成に適しているか。
2 導入ツールの紹介 ②AI英会話	人格や背景を持ったキャラクター数 発音矯正や文法チェック、語彙力強化機能の魅力度 レベル別、シチュエーション別の範囲
3 導入ツールの紹介 ③AIライティング	英文の添削、文法、スペルチェック、英文作成のサポート力 レベルに応じたフィードバックできる内容
4 導入ツールの紹介 ④AIリーディング	レベル別の英文記事、物語の提供数 語彙、文法、読解問題の自動作成を行えるか 音声読み上げ機能はあるか
5 導入ツールの紹介 ⑤AIリスニング	音声教材（会話、ニュース、物語等）の提供数 ディクテーション、リスニング問題の自動作成ができるか 音声のスピード調整が可能か
7 導入ツールの紹介 ⑥個別学習プラン	目標の設定、学習の振り返り機能があるか 苦手分野の克服、得意分野の強化につながる仕組みがあるか
8 導入ツールの紹介 ⑦語彙・文法学習	レベル別、テーマ別の語彙・文法問題の自動生成 単語の発音、意味、例文の提示 ゲーム要素を取り入れた学習コンテンツ
9 導入ツールの紹介 ⑨学習進捗管理	生徒全体の学習進捗状況の把握は容易か 生徒個別の学習履歴、習熟度の確認は可能か 学習データの分析、レポート作成は行えるか
10 導入ツールの紹介 その他要件	導入学習ツールの要件を満たしているか やりとり回数（20回以上/週）、職員アカウントの発行、教材作成支援、 多言語対応
11 仕様書の要件を満たしているか	個人情報・情報セキュリティの遵守体制、システム要件、運用・保守、 サービス終了時・契約満了時等の対応、法令遵守体制、その他機能
12 経費	事業の積算に係る単価や経費が妥当であり、業務の提案内容と整合性が 取れているか。